

# 代表質問 住宅供給公社対策など質す

## 第1回定例会

平成一七年第一回定例会は、二月二二日から三月一八日まで、二六日間の会期で開かれ、知事から、平成一七年度一般会計予算や市町村の廃置分合など、議員から、議員提出としては本県初めての政策条例である茨城県屋外広告物条例の一部を改正する条例などの議案が提出されました。

代表質問では、住宅供給公社対策、がん粒子線治療施設の整備、知事の四期以上の多選などについて、また、一般質問では、新県長期総合計画の展望、発達障害者への支援策、霞ヶ浦方式浄化槽の普及、住宅の耐震診断、今後の林野行政、と畜場の再編整備、今後の

## 本県初 議員提案政策条例可決

霞ヶ浦浄化に対する認識、利根川架橋の耐震安全性、学力診断テストの活用などについて質問がありました。(二、四面に掲載)

常任委員会では、付託議案及び国の基礎的収支改善の影響、霞ヶ浦浄化への取り組み、「桜の郷」の整備状況、常陸牛の販売促進、安全快適なみち緊急整備事業の見直し、暴力団撲滅の取り組みなどについて議論が行われました。(六、七面に掲載)

予算特別委員会では、付託案件及び県北のインフラ整備、TX快速電車の停車駅、J-PRARCの人材確保などについて質疑が行われました。(五面に掲載)

市町村合併に伴う新生活圏づくり調査特別委員会では、付託案件についての質疑及び最終報告書構成案の検討が行われ、また、新たな県総合計画調査特別委員会では、中間報告を取りまとめました。(五面に掲載)

一八日の本会議で、予算決算特別委員会が設置されました。

今回の定例会では、予算、条例、人事、意見書、請願など一 九の議案が可決、同意、承認、採択されました。

## 住宅供給公社対策は

## 販売体制の強化と経営改善

議員(自民) 住宅供給公社の経営は破綻に瀕しており、公社処理の過程で巨額の負担が県財政を直撃するおそれがある。県は、公社対策会議を設置したが、動きが見えてこない。一日も早く公社に対する基本方針を打ち出し、責任ある対応をしていく必要があると考えるが所見を伺う。

知事 今後五年間を土地

処分への集中的な取り組み期間とし、民間人の採用など販売体制の強化を図る。徹底した経営改善策を求めるとともに、経営支援を強化する。保有資産の再評価を踏まえ、債務の処理策を含めた抜本的な対策を検討していきたい。

議員 霞ヶ浦の浄化に膨大な予算を投入してきたが満足できる成果が上げられ

ていない。予算額の累計は幾らでその成果をどう認識しているのか。また、利根導水路に先行的に通水を開始して湖水を入れ替えるべきと考えるが所見を伺う。

知事 経費は一兆一〇〇億円余りである。湖内に流入するCODの負荷量等は削減されているが、水質環境基準や湖沼水質保全計画の水質目標は未達成であり、浄化対策の一層の充実に努める。利根導水路は漁業補償交渉の早期妥結を含め早期の運用を国に働きかけていく。

議員 一部の青少年の素行の悪さは、愛国心、武士道といった心の問題をないがしろにしてきたことによるのではないか。知事は、武士道という我が国古来の精神について、行政を執行する立場でどう考えるか。

知事 武士道には正義を重んじる心、勇気や思いやり、親に対する尊敬の念、苦難に打ち勝つ強い心など

の精神が流れており、国・県づくりの基本である人づくりのため、現在の世代のみならず次の世代にも伝えていくべき大切なものと考えている。

議員 最近、子供たちの学力の低下が大きな教育課題となっており、ゆとり教育の見直しが急務である。現在のゆとり教育についての認識と確かな学力づくりについて伺う。また、高校の学区制度の見直しについて伺う。

教育長 ゆとり教育の目指す方向は間違っていないが、そのねらいは十分達成されていないため、習熟度別学習の一層の充実や各学校種の連携による計画的、継続的指導など学力向上に努めていく。通学区域の見直しは、適切な時期に外部検討組織を設けて検討し、実施したい。

(ほかに、全国植樹祭への取り組み、警察基盤の強化なども質問)

**質問者**  
(2-3面)

長谷川大紋(自由民主党)  
江田 隆記(自民県政)  
長谷川修平(民主清新)

## 代表質問(要旨)

議員 県立の三病院は毎年度一般会計からの繰り出しと赤字決算を計上している。県立病院の経営の健全化には地方公営企業法の全部適用による経営の権限と



住宅供給公社が分譲する団地

責任の明確化が不可欠と考えるが所見を伺う。

知事 二月に設置した外部有識者からなる県立病院の経営形態に関する検討委員会や県行財政改革推進懇談会の結果を集約し、できるだけ早期に、地方公営企業法の全部適用や地方独立行政法人など新たな経営形態の導入について検討していきたい。



「第19回国民文化祭・ふくおか2004」歓迎広場(博多駅前)

# 一般質問(要旨)

## 質問者

(2-4面)

- 飯塚 秋男(自由民主党)
- 鈴木 孝治(明党)
- 山中 泰子(日本共産党)
- 田所 嘉徳(自由民主党)
- 黒部 博英(自由民主党)
- 白井平八郎(自民県政クラブ)
- 坪井 透(自由民主党)
- 川口 浩(民主清新クラブ)
- 小川 一成(自由民主党)

## 新長期総合計画の展望は 活力ある・住みよい・人が輝く茨城

議員(自民) 地方分権社会の到来の中で、本県が輝きを放つには県民の知恵と力の結集は必須である。明確な将来ビジョンが必要となるが、知事は、新計画に如何なる姿を描くのか。

知事 人口減少社会において、働く場所の確保や交

ともにも、効果を検証しうる仕組みを構築すべきでは。

生活環境部長 県民一人ひとりが何らかの役割を担うような県民運動や、専門家などで構成する国民文化祭の企画委員会を開催後も継続することを検討する。

(ほかに、受動喫煙防止対策、下妻八千代パイパスの整備、立地企業へのフォローアップなども質問)